

なぎそ 議会だより

住民懇談会 / 平成30年11月臨時会

住民懇談会の前半には、ご講演をいただきました。

「がん、とは？」

県立木曽病院 小出 直彦 副院長

会場の感想

- 毎年検診を受けていて良かった。早期発見ができた。
- よく分かり勉強になった。こういう機会を地域で持てると良い。
- 木曽病院が近くにあれば良いと思う。



「保健師活動から学んだ南木曽の底力」

前澤 智美 保健師

会場の感想

- とても良い講演だった。若い世代にも聞いてほしい。
- 実体験に基づく話は説得力があった。
- 自分に何ができるかを考えて、行動を起こさなければいけないと感じた。



当日は、約33名の方が会場へ足を運んでくださいました。参加した皆さまからのご意見は、次ページに概要を掲載させていただきました。

11月10日(土) 南木曽会館
住民懇談会を
開催しました

委員会報告

リニア新幹線対策特別委員会

中津川市公立病院地域協議会の概要

21 p

● 補正予算の承認

● 議員報酬及び費用弁償の条例改正

11月臨時会

住民懇談会

地域医療、リニア関連、議会への要望

20 p

住民懇談会

意見と要望

地域医療関連

●在宅介護について、中津川市は「地域包括はそれぞれの行政区で行うのが望ましい」と言っている。これから町の在宅医療をどう構築していくのか：議会としての考えは。木曾病院行きのバスに乗ったが、一時間以上かかった。高齢者はトイレのことも含め無理があるのではないだろうか。(女性)

●坂下病院は元々地域で作った病院だ。なんとかならないものかと思う。驚くのは若い世代の関心が薄いということだ。まだ先の話だと思っっているようだが、もう少し関心を持ってもらうように議会の中で対策委員会等を作って町や県、国へも働きかけてもいいのではないか。(男性)

●土捨て場がなく苦勞しているようだが、見通しはどうか。(男性)

●JRは水の問題に関しては当面大丈夫などと言っているが、枯れるような事になっては困る。特に妻籠宿では大問題だ。しっかりと話し合って欲しい。(男性)

●政治やお金では医者は動かせないというのが現実であり、医師の本質だと思う。それを踏まえた上で、町も議会もこれからのことを考えてほしい。(女性)

●最近、近所で二度続けて救急車を呼んだ。木曾病院なり市民病院へ救急車が出てしまうと、何かあった時に救急車の到着が遅れて困るので、そういった対策も必要ではないかと思う。(男性)

その他

●南木曾駅に英語の堪能な方がいるのは、外国人観光客にとっても好評だ。なるべく切符を南木曾駅で買ってもらうように宣伝したらどうか。(男性)

●固定資産税評価額が下がっている。長野県の中でも南木曾町の下落率は顕著で、このままでは町の財政に大きな影響を及ぼす。広域連携を図りながら、対策を考えて欲しい。(男性)

JR関連

●インバウンドで来る外国人観光客が、大きいトランクを持って南木曾駅を利用して、エレベーターもなく大変苦勞している。リニア建設工事で町がリスクを背負う分、JRと在来線のことをなんとか話し合ってもらいたい。(男性)

●岐卓県に比べて長野県は道路も山も整備されていると思う。何より人に優しい。木曾病院は来て下さいと言っているのに行かなければ、また坂下病院と同じようになってしまおうと思う。(女性)

●財政調整基金の処分
平成30年9月30日から10月1日にかけての台風24号に係る災害関連事業の財源に充当するため、財政調整基金を800万円取り崩します。

11月臨時会 可決議案

専決処分案件

主に農業施設、林業用施設、道路橋梁施設、観光施設福祉施設の災害復旧費です。

条例の改正

●一般職の職員の給与に関する条例の改正
人事院勧告に基づく

●平成30年度一般会計補正予算(第6号)
803万4千円を追加し、総額37億7127万1千円となります。

●住民懇談会は良いが毎回人が集まらない。もう少し方法を考えて

議会あり方委員会から

皆さんから頂いた貴重なご意見は、今後の議会活動に反映していきたいと思えます。
また、住民懇談会の開催方法についても、もっと多くの方々に参加してもらえようように見直していきたいと思えます。



住民懇談会の様子

●特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の改正
国家公務員の給与改正に準じて、特別職の職員で常勤の者(町長・副町長・教育長)の期末手当を年0・05月分引上げるものです。

●議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正
国家公務員の給与改正に準じて、期末手当を年0・05月分引上げるものです。

●一般職の職員の給与に関する条例の改正
人事院勧告に基づく
国家公務員の給与改正に準じて、一般職の職員の給与を改定し、宿日直手当を200円、勤勉手当を年0・05

地域協議会の概要

11月22日に、平成30年度の第1回中津川市公立病院地域協議会が中津川市民病院で開催されました。この協議会は平成28年度から毎年開催され、今年で3年目を迎えます。中津川市の各地域の代表18名に加え、大桑村と南木曾町から各1名の委員、全体20名で構成されています。当初、南木曾町からは地域振興協議会長会議の会長が出席していましたが、2年目からは南木曾町地域代表として議会から1名が出席しています。

協議会では、中津川市新公立改革プランの進捗状況や、市民病院、坂下病院に関すること、公立病院事業の地域周知に

関することなどを協議します。

今回の協議会では現在の病院の経営状況、今後の見通し等について報告がありました。市からは、平成28年度に作成した公立病院改革プランに基づいて目標達成へ取り組んでいるが、思うように目標達成が出来ていない現状で申し訳ない状況であること、坂下病院についての繰入額は、平成30年度は当初予定を2億4900万円上回って、4億4900万円となる見通しであること、評価委員会から改革プランの早期見直しをすべきとの提案をいただいております。年内には見直しを進め、方針を定めたいと説明がありました。

報告

平成30年度第1回中津川市公立病院地域協議会の概要
坂下病院を巡る中津川市の状況

- 「中津川市民病院と坂下病院の現状と今後について」の資料概要
 - 改革プランの主な取り組みと現状
 - 病院の入院機能変更、患者数、手術件数の動態、経営指標の状況の報告など
 - 今後について
 - 平成30年度収支見込みと評価委員会の提言への対応
 - 坂下病院の入院機能の検討
 - 診療所化、一般病床転換などを含め抜本的見直し。
 - 民営化に関する考察
 - 診療所の場合について2つの法人が関心を示したが条件が付く。
 - 坂下病院の見直し(案)の検討
- (注) 今回示された資料は、11月6日の中津川市議会「病院・医療等特別委員会」における資料とほぼ同じで、この特別委員会の内容は資料の説明も含めて中津川市議会ホームページの動画で視聴できます。

11月22日、南木曾町議会と中津川市議会のリニア対策特別委員会が合同会議を開催しました。

南木曾議会は会議前に、リニア新幹線トンネル掘削工事が始まった中津川市山口坑口を視察しました。山口工区は中津川市山口から南木曾町（大妻籠地区）まで4.7kmで、本線掘削完成は5年後の2023年6月の予定です。



山口工区の坑口の工事状況



山口地区での視察の様子

会議は中津川市役所の4階大会議室で行われ、それぞれの地域の現況と動向について報告があり、情報交換をしました。

中津川市議会では石川県の新幹線車両基地の視察を行うなど、企業誘致と雇用にも力を入れているとのことでした。

南木曾町においても将来に向け、地域の産業と観光振興の推進を図っていきたくところです。

報告

リニア新幹線対策特別委員会
中津川市議会と合同会議